

- ◇「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と韻を踏んだ慣用句がありますが、皆さまの三月はいかがでしょうか。忙しい反面、心に残る出来事が懐かしく思い出される瞬間があるので、どこか切なさを感じる「去る」という動詞が当てられているのも大いに頷けます。奇しくも、今号は人とのつながりやご縁に焦点を当てた記事が散見されます。
- ◇「とびら」では、日本分析化学会関東支部長の安田純子先生が『学会の活用方法』と題し、分析技術を学ぶ場として、学会員同士の交流を呼びかけられています。筆者も数年前まで学会は単なる発表の場という認識でした。しかし、編集委員として大勢の先生とやり取りする機会をいただいて以来、学会の恩恵をより多く享受している実感があります。
- ◇「リレーエッセイ」では、愛媛大学の座古保先生が『せっかくの出会い』と題し、先生の研究キャリアに影響を与えた印象深いエピソードを取り上げられています。「せっかくこんな素晴らしい環境にいるのだから」という前向きなメッセージに心が揺さぶられたのは、きっと筆者だけではないと思います。
- ◇ご卒業・ご退官の季節を迎え、「ぶんせき」をお読みにするのは今号が最後、という方もいらっしゃるかもしれません。編集後記に目を通していただいたのも一期一会のご縁かと存じます。新生活での皆さまのご活躍を心より祈念しております。
(K. I.)

〈とびら〉

『All in all it was all just bricks in the wall』……………山本 雅博

〈入門講座〉 データ解析：定量・定性からビッグデータの解析まで
機械学習入門

……………松本 博士

〈ミニファイル〉 非破壊・固体分析

走査電子誘電率顕微鏡……………熊谷 和博

〈話 題〉

鉛同位体比を用いた大気エアロゾルの発生源解析

……………山本 祐平

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四宮 一 総 (日 大 薬)		
〈副委員長〉 東海林 敦 (東京薬科大薬)		
〈理 事〉 津越 敬 寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹 事〉 市場 有 子 (ライオン(株))	稲川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)	坂 牧 寛 (化学物質評価研究機構)
	村居 景 太 (株共立理化学研究所)	
〈委 員〉 岩井 貴 弘 (株日立製作所)	糟野 潤 (龍谷大先端理工)	久保田 哲央 (アジレント・テクノロジーズ)
	古賀 舞 都 (農 研 機 構)	島田 健 吾 (石福金属興業(株))
	末吉 健 志 (大阪公立大院工)	高橋 あか ね (オルガノ(株))
	永谷 広 久 (金沢大院自然科学)	野間 誠 司 (佐賀大農)
	原賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)	福島 健 (東邦大薬)
	三浦 篤 志 (北大院理)	宮下 振 一 (産業技術総合研究所)
	盛田 伸 一 (東北大院理)	森山 孝 男 (株リガク)
		橋本 剛 (上智大理工)
		谷合 哲 行 (千葉工業大先進工)
		松神 秀 徳 (国立環境研究所)
		森 勝 伸 (高知大理工)
		山崎 由 貴 (国立医薬品食品衛生研)

☒ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2024年 第3号 (通巻591)

2024年3月1日印刷

2024年3月5日発行

定価 1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2024, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。